

WADAIKO 遙 TOKARA

2013年 4月

TOKARA 公演情報

- ・6月17~29日:伊那谷和太鼓コース グランドツアー、長野県飯田市
- ・6月29日 (土): 幸い下伊那和太鼓フェスティバル、長野県飯田市
- ・8月1~ 26日: 風越~スコットランド エディンバラフリンジ祭
会場 C too Mainhouse, Edinburgh

アメリカ・カナダツアー完結！

~激動の果てに見たものは~

4月になり、4ヶ月に及ぶアメリカ・カナダツアーの終わりが近づいている事を実感しつつ、私達は車に乗りこみアメリカのミネアポリスを出発しました。この車も、2ヶ月以上乗っているだけあり、さすがに愛着が湧いてきます。



皆と一緒に演奏しました！

それから3時間ほど走った先にある、ミネソタ州のマーシャルという町へ行き、地元の学生マーチングバンドと一緒にコンサートをしました。その学校には、校内とは思えないほどの立派で広いコンサートホールがあり、そちらで演奏させて頂きました。公演全体の内容としては、マーチングバンドの皆さんが様々な曲を演奏する中で、後半の始めと終わりに私達が演奏をさせて頂くという形でした。

マーチングバンドの皆さんはレパートリーがとて多く、木琴だけで奏でる美しい旋律の曲もあれば、ドラムセットが入る激しい曲もあり、中には動物の鳴き声のモノマネだけで作られた、ひょうきんな曲までありました。マーシャルではコンサートだけでなく、ワークショップも行いました。



マーシャルでTシャツを頂きました。



溢れんばかりのお肉を堪能！

コンサートにワークショップにと全て終えた後、私達は今回マーシャルでお世話になった方々と一緒に、ステーキハウスへと行きました。お肉好きな私としてはこの素敵な名前を聞くだけで思わずお腹が空いてきてしまいます。そこで私はリブロースを注文し、日本のレストランではなかなかお目にかかれないサイズの骨つき肉を堪能しました。私はアメリカの事がまたひとつ好きになりました。



飛んで一跳ねて一回って叩いて♪

お肉でエネルギーを充填して、マーシャルを経ち、私達はカナダのウィニペグへと向かいます。それから短い間にエドモントン、カルガリー、ケローナと。



エドモントンの会場です！

参加して下さいました。自分がこの曲を覚えるのに苦労した事を思うと少し複雑な気持ちになります。が、そんな事を思う間も無く、その日の夜にコンサート「風越」も行いました。そのコンサートは「ブーミングツリー」というグループ主催のコンサートで、ブーミングツリーと北の太鼓と私達の3組と一緒に公演を行わせて頂きました。そのコンサートでは全体の司会進行を



道路を闊歩するシカ達に遭遇！

各地を転々と突き抜けて行きました。まずウィニペグを出発した私達は、エドモントンで「北の太鼓」というグループの皆さんと一緒にワークショップを行いました。その日は伝統曲である「とんばね太鼓」を叩き。皆で楽しく飛んで跳ねました。普段から太鼓を叩いてる方はやはり曲を覚えるのが早く、皆「次はなんだ次はどんなリズムだ！」と、とても熱心にワークショップに



空席案内をする巨大歌舞伎役者。

された方が、歌舞伎の格好で、尚且つ竹馬の様なものを装着して、3m近くの巨大歌舞伎役者の様になり、公演前や曲間などで終始会場を湧かせました。私はこんなパフォーマンスもできるんだなぁと感心しました。

次の日、私達はコンサートの熱も冷めやらぬまま車へと乗り込みます。今度は「ミッドナイト太鼓」というグループの皆さんと共に

ワークショップを行わせて頂く為、カルガリーへと向かいました。この日は伝統曲の「ぶち合わせ太鼓」を叩きました。ワークショップでこの曲を初めて習う方々に、私達はハンバーガーのパンやレタスなどの具材にリズムをあてがう【バーガー】という独自の覚え方をオススメしています。なのでTOKARA流に言うと、ぶち合わせ太鼓はバーガーパートとダンスパートの2つに分けられます。



4月の綺麗な雪山です。...春はどこ？



ケローナに到着！！

もバーガーパートも無事全て終わる事ができました。

カルガリーでのワークショップを終え、私達は今回のアメリカ・カナダツアー最後の地、ケローナへと向かいます。朝にカルガリーを出発した時は一面が雪化粧でしたが、ケローナへ着く頃には緑が広がっていて、1日で冬から春に変わりました。

ダンスパートはぶち合わせ太鼓の花形とも言える見せ場のパートで、ひとつの太鼓を3人で踊るように代わる代わる叩いていく、難しい所となっています。ですから今回のワークショップでも、バーガーのパートはすんなりと進み、ダンスパートではじっくりと進む形となりました。ワークショップが進んでいく中で、皆で掛け声を出しながら、時には笑い声もこぼれつつ、ダンスパート



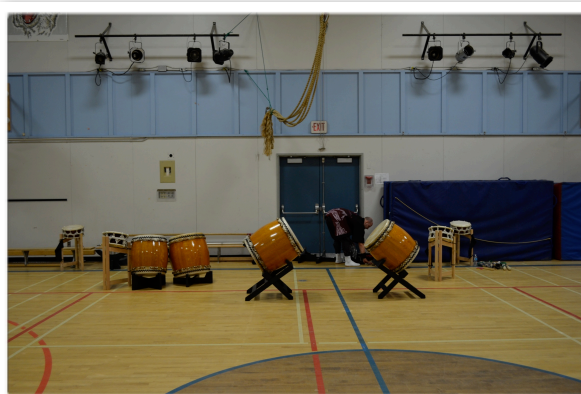
ケローナでの滞在先です。



室内にはなんとシャンデリアが！

小学校低学年くらいの子供達が「来てくれてありがとう」や「貴方達は凄い演奏者だ！」などの、大人顔負けの立派な言葉遣いで褒めてくれたのが印象に残ってます。私があの子達くらいの年齢だった時は、その様には言えなかった気がします。本当に立派な子供達でした。

ケローナにいた2週間で、私達は8ヶ所の学校で演奏をし、ワークショップを行い、野外演奏をし、コンサート「風越」を開催するという、ツアーの最後に相応しい、怒涛の日々をすごしました。学校演奏は全ての場所で好評を頂き、どの学校でも「ありがとう」や「また来て下さい」などの嬉しい言葉をたくさん頂きました。また、



学校演奏！子供の笑顔が力になります。



私達の記事が掲載されました。

それから、私達は地元の太鼓グループ「山彦太鼓」の皆さんとワークショップを行わせて頂く為、皆さんの元へ伺いました。今回のワークショップは今までとは違い、2日あり、内容も難しいものとなりました。その名も「ステアマスター」というもので、右手と左手で100%同じ動きができる事を目的とした、TOKARAオリジナルのドリルです。ワークショップが進むにつれ、山彦太鼓の皆さんは頭も身体もめいっぱい使っ

て叩いている様子で、まるで「？」が目に見えるようでした。

ですが繰り返して練習して行くうちに、いつしかその「？」は消えてゆき、掛け声や太鼓の音が響き渡る中、ステアマスターワークショップは無事終わりました。頑張りました。皆凄い頑張りました。

ケローナではコンサート「風越」も行い、800人を超えるお客様の前で演奏させて頂きました。それは山彦太鼓の皆さんと行ったコンサートで、アンコールには「ぶち合わせ太鼓」を一緒に演奏しました。お客様のほとんどが太鼓を見るのは初めてで、演奏が終わると



ワークショップ！皆頑張れー！

お腹の底から振動が伝わるほどの歓声と拍手が起こり、それは尻もちをついてしまうかと思う程の勢いでした。

コンサートが終わり、その翌日、私達はゆっくりと身体を休め...る事もなく、小学校公演を終え、ケローナでの仕事をすべて終えました。それはつまり、このアメリカ・カナダツアーの終わりを意味しています。バンクーバーから始ま



コンサート会場です！お、大きい！

り、アメリカの東海岸から西海岸を横断し、総走行距離はおよそ2万km。季節は変わり年齢も変わり、色んな人と出会い色んな事がありました。そのすべての経験を次に生かし、お客様に感動して頂ける演奏ができる様に、これからも精進して参ります。どうぞこれからも、よろしくお願い致します。それではまた次のニュースレターをお楽しみに。

小野澤 貴史 著



コンサート後、山彦太鼓の皆さんと。

和太鼓TOKARA

2013年アート・リー芸歴20周年と2014年TOKARA結成10周年を記念し、2年間にわたり世界12か国を横断する世界ツアー"風越"。

私たち 和太鼓TOKARA の拠点、長野県飯田市に、風越山(ふうえつざん)という山があります。風が越えてくる山。風越(かざこし)。早朝、風に運ばれた霧が谷へ流れ込む情景は、山が羽衣を纏ったかの様に、厳かで美しいものです。

山脈の連なる長野県伊那谷の南に位置する飯田の地で、皆様に支えられ、新しいステージを作り上げ、練習を積み、また次の公演へと旅立つ。海外での公演ツアーが増えるこの数年、私たち TOKARA のエネルギーの原点がここにあります。

風雨に耐え、堂々と美しく聳え立つこの山の様に、それぞれの節目の年を越え、これからも力強く太鼓人生を歩んでいきます。

和太鼓 TOKARA の色として、私たちがこれまで作り上げてきた力強く流れる様な身体表現と、様々なリズムを融合したジャズの様でもある音楽の世界を、ぜひ体感して頂ければと思います。

「風越(かざこし)」2013-2014 世界ツアー

詳細は www.tokara.net/kazakoshi をご覧ください。

WADAIKO TOKARA

和太鼓TOKARAのステージは、伝統的な和太鼓に、中国武術、舞踊の流れるような曲線的動作を取り入れた独自の振り付けと、その驚異的なスピードとパワーが融合し、観る者を虜にする。常に新しい楽曲演奏スタイルを追求し、全く新しいTOKARA流パフォーマンスを創り上げる。世界の様々なリズムを取り入れ、複雑に重なりあったリズムが創り出す斬新な音楽は、ジャズの様でもあり、聴く者を魅了する音楽性の高さが注目されている。

リーダー兼 芸術監督であるアート・リーは、現在の太鼓界をリードするトップ奏者の一人として活躍。2001年、ソロ奏者として、世界で初めて日本政府より芸術ビザを取得。以来、現在に至るまで唯一の外国籍和太鼓アーティストとして日本はもとより、世界に活動の場を広げる。又2005年には、最も権威ある『東京国際和太鼓コンテスト・大太鼓部門』において、外国人初、唯一となる最優秀賞を受賞。

世界ツアー 第一弾

2013年1月-8月

バンクーバー・カナダ/ケローナ・カナダ/ミネアポリス・アメリカ/
ピーサム・イングランド/ペンザンス・イングランド/ダブリン・アイルランド/
エクセター・イングランド/エディンバラ・スコットランド

詳細は: www.tokara.net/kazakoshi



WADAIKO 遙 TOKARA



ENGLISH



日本語



KAZA
風



KOSHI
越



20TH ANNIVERSARY WORLD TOUR

初CD「Toward the Undiscovered
Country~未知の世界へ~」

収録曲数 8曲 収録時間 58分

リンクと試聴 [http://www.tokara.net/
info/ttuccd-jp.html](http://www.tokara.net/info/ttuccd-jp.html)

以下にリンクして頂きますと、2012年世界ツアーの様子などがムービーや写真で
ご覧頂けます。

[Performance Schedule](#)
[Tokara on YouTube](#)
[Tokara on Facebook](#)
[Tokara on Twitter](#)

お問合せ

和太鼓TOKARA

395-0826

長野県飯田市松尾水城3598 B-202

TEL/FAX: 0265-59-8768

Email: info@tokara.net

もしくは

wadaiko.tokara.japan@gmail.com

ウェブサイト: www.tokara.net

以前のニュースレターをご希望の方は

[Tokara Newsletter subscription site](#)

今後のワークショップ

伊那谷和太鼓コース グランドツアー
初心者中級者向けコース

2013年6月 17 - 22 日, 24 - 29 日

初心者の方を対象に1週間の太鼓酔けの
レクチャーを通して理解を深め、技術の
向上を目的としています。コースでは、
日本各地に伝わる和太鼓のスタイルや、
リズムを学びます。また世界の太鼓のリ
ズムや技術にも触れる機会があります。

レクチャー、練習は、毎日朝10時より
午後4時まで阿智村の公民館ホールにて
行います。参加者は、期間中、他の太鼓
施設やグループを訪れ、特別講師から
レクチャーを受ける機会もあります。
コース最終日に行われる「幸い下伊那和
太鼓フェスティバル」のなかで、練習の
成果を発表する機会があります。詳細、
申込用紙などはコースウェブサイトをご
覧下さい。

[http://www.tokara.net/taikocamp-
jp.html](http://www.tokara.net/taikocamp-jp.html)

皆様のご声援 本当にありがとうございます
ます。 TOKARAメンバー一同、
ますます精進して参ります。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げ
ます。 和太鼓アーティスト
アート・リー